

2020 サテライトカレッジ

当たり前だと思っていませんか 話すこと、食べること

言語聴覚士による市民公開講座

私たちは普段、何気なくおしゃべりをし、食事を楽しんでいます。
しかし、それは当たり前のことなのでしょうか。

発達障害、脳卒中や事故などによる脳損傷、高齢化などにより、会話や
摂食嚥下が困難な方がたくさんおられます。

また、今問題を抱えていない方も、将来、徐々に、または突然に、
「当たり前」と思っていたことが難しくなるかもしれません。

本講座では、コミュニケーションや食べる機能の成り立ちと障害について
学ぶとともに、障害をもつ人への理解を深めていただきたいと思います。

【開催日時】 令和2年 8月22日(土) 8月29日(土)

9月12日(土) 9月26日(土)

いずれも、13:00~14:30 定員 25名

(コロナウィルス感染対策の為、定員を縮小しました。)

【場所】 サテライトキャンパスひろしま 504 講義室

(広島市中区大手町1丁目5-3)



(バス・電車: 「紙屋町」「紙屋町西」で下車)
広島駅から.....バス、電車で約15分
広島バスセンターから.....徒歩約3分
広島空港から.....バスで約60分
広島港から.....バス、電車で約30分
アストラムライン本通駅から.....徒歩約2分



<参加申込方法>

コロナウィルス感染対策の為、定員を縮小しました。お手数ですがお申し込みの前に、

電話で申し込み状況のご確認をお願いいたします。 広島都市学園大学 西風新都キャンパス 082-849-6883 担当 森藤

1. 広島都市学園大学のホームページから様式を Down Load (<http://www.hcu.ac.jp/lecture/koukai.html>) して、郵送または Fax にてお送りください。(裏ページ記載)
2. 受講証を郵送します。当日は、ICカードと一緒に持参してください。

プログラム

No.	月日	開始時刻	終了時刻	テーマ	講義内容	講師	定員
1	08/22 (土)	13:00	14:30	脳とことばとコミュニケーション	ことばとコミュニケーションについて、脳のはたらきや障害から考えます。脳卒中後にみられる「失語症」、交通事故後に多い「高次脳機能障害」とは何か、どのようなリハビリテーションが行われるのかをお話します。	本多留美 言語聴覚専攻科 (科長・教授)	25人 コロナウイルス感染対策の 為、定員を縮小しました。
2	08/29 (土)	13:00	14:30	ことばをはぐくむ	子育て中、ことばの発達が気になった場合にも、正しい知識があれば、不安が解消することがあります。子どものことばの育ちや遅れについての基礎的な事柄や、ことばをはぐくむ関わり方などについて解説します。	河村千夏 言語聴覚専攻科 (助教)	
3	09/12 (土)	13:00	14:30	吃音と吃音の方への接し方	話し始めを繰り返したり、詰まったりしてコミュニケーションに支障をきたす状態を吃音といいます。麻痺などなく、見えない障害ともいわれる吃音とはどのようなものか、また、吃音の方への接し方などをお伝えします。	糸原弘承 言語聴覚専攻科 (講師)	
4	09/26 (土)	13:00	14:30	飲み込みの障害とその対応	飲み込みの障害（嚥下障害）が原因でおこる肺炎は高齢化にともない多くなってきています。この回では、飲み込みの障害について画像を交えて理解を深め、自宅でできる簡単なトレーニングについても紹介します。	樋口直樹 言語聴覚専攻科 (講師)	

《講義中はマスク着用をお願いします。》

《コロナウイルス感染が再発しましたら中止し、申込者にご連絡いたします。》

主催



一般社団法人
教育ネットワーク中国

〒730-0803 広島市中区広瀬北町9-3

広島修道大学インターナショナルハウス内

TEL:082-533-7590 FAX:082-533-7591



学校法人古沢学園
広島都市学園大学

【西風新都キャンパス】〒731-3166 広島市安佐南区大塚東3-2-1

TEL:082-849-6883 FAX:082-849-6884

健康科学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻

言語聴覚専攻科 在学期間2年 入学資格:大学卒(学部問わず)

大学院 保健学研究科 保健学専攻 修士課程

【宇品キャンパス】広島市南区宇品西5-13-18

TEL:082-250-1133

健康科学部看護学科

子ども教育学部子ども教育学科